

# 令和5年度 第1回 山北町子ども・子育て会議 第1回 山北町放課後子ども総合プラン運営委員会

---

日 時：令和5年6月27日（火）10:00～10:35

場 所：山北町役場 4階 401会議室

参加者：**委員**

河合委員、清水委員、高橋委員、池田委員、吉尾委員、大脇委員、杉本委員  
[欠席] 工藤恵委員、山崎委員、尾崎委員、工藤愛委員、今村委員、二宮委員

**事務局**

福祉課 内田課長、杉山副主幹、澤島主任主事

こども教育課 高橋課長、磯崎副主幹

[欠席] 保険健康課 小林保健師

配付資料：次第・委員名簿

【資料1】令和4年度「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の実績

【資料2-1】市町村子ども・子育て支援事業計画の変更に係る協議について

【資料2-2】見直し案算出にあたっての考え方

【資料2-2別添】山北町子ども・子育て支援事業計画 見直し案【教育・保育】

【資料2-2別添】山北町子ども・子育て支援事業計画 見直し案【地域子ども・子育て支援事業】

【資料2-3】令和5年度「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」のニーズ量見直し(案)

【資料2-4】令和6年度「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」のニーズ量見直し(案)

【資料3-1】次期こども関連計画について

【資料3-2】今後のスケジュール(案)について

【参考資料】山北町子ども・子育て会議の意義及び概要

---

## 1. 開会（事務局）

## 2. あいさつ（会長）

### 《事務局》

年度が変わり、代表が変更となった団体も見受けられるので、改めて自己紹介をお願いしたい。

⇒ 各自、自己紹介

## 3. 議題

### **子ども・子育て会議**

議題（1）令和4年度における各事業の実績について【資料1】【参考資料】

子ども・子育て支援事業計画の進捗について

### 《事務局》

年度初めの会議となるため、まず子ども・子育て会議が設置された経緯と役割について説明。

子ども・子育て支援事業計画の趣旨及び今年度は計画期間5か年の中の4か年目にあり、昨年

度は計画見直しの中間年であった旨説明。

資料1に基づき、令和4年度各事業の実績について説明。

#### 《議長》

議題1についてご意見ご質問があれば伺いたい。

⇒特になし。

### 議題（2）子ども・子育て支援事業計画中間見直し結果について

#### 《事務局》

昨年度は計画の中間年であったため、計画内に定めている事業のニーズ見込み量と実績値で10%以上の乖離がみられる数値については見直しを行った。

昨年度これを基に県へ法定協議を行った結果、資料2-1のとおり異議なしと回答がありましたのでご報告させていただく。

昨年度と同じ内容になりますが簡単に説明させていただくと、資料2-2、3、4については、令和5年度、令和6年度の見直し案及びその算出方法の資料となる。

資料2-2は各事業におけるニーズ量見込みと実績の数値との乖離状況と、それに対して計画値の見直し方針についての考え方をまとめたものである。基本的に10%以上乖離があった事業については従来の計画の数値を見直すものとしている。

次の資料2-2別添の資料が、見直し数値の算出方法の資料となる。令和2年から令和4年の実績数値の増減率に合わせて現行の計画値の数値を見直し数値を算出している。

計画値の数値の見直しを反映させたものが資料2-3、4となっている。

#### 《議長》

議題2についてご意見ご質問があれば伺いたい。

⇒特になし。

### 議題（3）次期子ども関連計画について

#### 《事務局》

令和5年4月に施行されました子ども基本法により、都道府県、市町村は国が発出する子ども大綱を勘案し、各自治体における子ども施策についての計画（子ども計画）を定めるよう努めることとされた。

策定期間は令和7年度から令和11年度計画を令和6年度に策定することを予定している。子ども計画の策定にあたっては、既存の子ども子育て支援事業計画と一体的に策定することが可能とされているので、第3期子ども子育て支援事業計画の策定が来年度を予定しているため、それに合わせて策定準備にかかる必要がある。

計画の構成及び内容について、先述した通り子ども計画は国から発出される大綱を勘案したうえで策定することとなっているが、現時点で国から大綱はでていない。

また、子ども計画の策定にあたっては、子ども・若者等の意見を反映させることが必要となっており、子ども若者を対象としたパブリックコメントやインターネットによるアンケートの実施等、様々な方法が例示されているが、これらについては今後最適な方法を検討していく。

なお、来年度に第3期子ども子育て支援事業計画の策定に伴い実施予定であるニーズ調査についても、子ども計画と既存の子ども子育て支援事業計画を一体的に策定する場合には本調査様

式も必要に応じて変更する必要がある。

今年度秋～冬頃にこども大綱が国より提示され次第、こども計画及び第3期の子ども子育て支援事業計画の策定準備に入っていく予定。

具体的には、第3期の計画策定にむけてのニーズ調査を行う必要があるため、調査に必要なアンケート様式の内容を調整し、第2回目の会議によって今年度中に提示する予定。内容が固まり次第、調査実施のうえ分析を進めていき、来年度の会議で調査結果及び計画の素案を提示していくといった流れ。現時点ではスケジュール案で示しているとおり予定しているが、具体的な時期についてはまた次回以降の会議で改めて伝えさせていただく。

《議長》

議題3についてご意見ご質問があれば伺いたい。

《委員》

来年度行うニーズ調査の内容について、実施前に本会議で何らかの形で提示されるのか。

《事務局》

ニーズ調査の内容については、今年度中の会議で内容について精査いただく機会を設ける予定。

《委員》

承知した。

《議長》

他にご意見ご質問ないか。

⇒特になし。

議題が多くなると会議資料も複雑かつ多量になるので、会議の中で全てを理解するのは難しい場合もある。次回以降会議では事前に各委員に資料を送付する等工夫をしてもらえると助かる。

5. 閉会

10 : 35 終了

以上